

場所	分類	被ばく低減対策好事例集		
原子炉建屋内 RB	RB 6	1 時間		
タービン建屋内 TB		2 距離		
R ZONE R		3 遮へい		
Y ZONE Y		4 線源の除去		
G ZONE G		5 遠隔、ロボット化		
その他() Z		⑥ 汚染拡大防止	番号	29-03
		7 その他		
内 容	PCV内挿入機器 引抜時の汚染防止対策			
作業部位	2／3号機原子炉建屋 1階			
概 略	PCV内挿入機器引抜時に汚染隔離工法を採用し、除染・汚染検査の手間を省いた。			
評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	77
		人工数(人日)	--	--
事例詳細	<p>対策前 PCV内調査のため挿入された機器類は、α核種を含み、かつ、高レベルで汚染しているため、引抜時に除染・養生等で多大な被ばくを伴う恐れがあった。</p> <p>対策内容 汚染隔離工法(下図参照)を採用することで、汚染拡大の恐れが無く機器を引き抜くことができ、かつ、除染の手間も大幅に減少することができた。</p>			
PCVに挿入した機器を引き抜く際に養生チューブを用いた汚染隔離工法を用いることで汚染測定、拭き取り除染、養生に要する被ばくを削減する				
				養生チューブ外観 養生チューブ設置イメージ 插入作業イメージ 引抜き作業イメージ
<h3>汚染隔離工法による効果</h3> <ul style="list-style-type: none"> 「身体汚染」「汚染拡大」「ダスト発生」発生なし 「汚染密度測定」「拭き取り除染」「養生」に要する被ばくを削減 				
東京電力HD殿 「3号機 原子炉格納容器内部調査及び常設温度計取外し・取付作業における被ばく線量低減対策」から引用				